授業科目名・形態	心理学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石塚　章	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	C1-1003				

【授業の主題】

心理学とは様々なアプローチから人間を理解しようとする学問であり、発達や学習、記憶、知能等の広い分野を扱う学問です。それぞれの領域ごとの専門家が日々研究を重ねていますが、本講義では幅広く学習をすることで、心理学に関する基本的な知識の習得、他者理解、自己理解を深める機会となればよいと思います。

【到達目標】

1. 心理学の基本的な知識を理解し、説明できる
2. 心理学の知見をもとに、人間理解を深める

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション、心理学の概要
第 2 回　心理学の歴史
第 3 回　学習と記憶①
第 4 回　学習と記憶②
第 5 回　パーソナリティ
第 6 回　発達心理学
第 7 回　認知と行動
第 8 回　ストレスとリラクゼーション
第 9 回　心理教育
第 10 回　社会心理学
第 11 回　コミュニティ心理学①
第 12 回　コミュニティ心理学②
第 13 回　心理検査①
第 14 回　心理検査②
第 15 回　まとめ

※講義の進み具合で内容が変更となることがあります

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行いますが、個人ワーク、グループワークを行うこともあります。
また、毎回、授業の最後に時間をとり、出席シートに感想や質問を記入し提出していただきます。

【事前・事後学習】　講義内容を踏まえ、復習を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】　「カウンセリング」、「臨床心理学」

【教科書等】　教科書は使用しません。

【参考文献】　講義のレジュメに記載します。

【成績評価方法】　レポート 70%、受講態度 30%とし、総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

小中学校、高校でのスクールカウンセラー、被災地でのカウンセラー、10 代～20 代の精神疾患の方達への支援、放課後等デイサービスの管理者、グループホーム・病院での認知症の方々への支援や心理検査の実施等を経験。

・認知症検査を含む心理検査についての講義
・被災された方達への心理教育を含む心理教育についての講義
・小中学校に実施したストレスマネジメントを含む内容についての講義
・発達心理学において、思春期や高齢者を含む内容の講義

【学生へのメッセージ】

講義に加えて個人ワークやグループワークを行い、主体的に学べるような講義としたいと思います。